

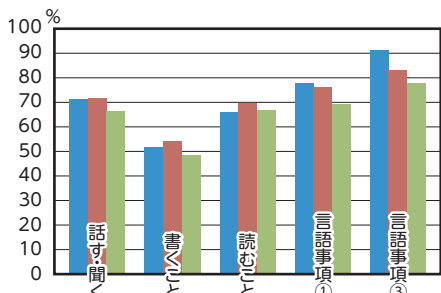
力・学習状況調査

4 月19日に実施された全国学力・学習状況調査では、美郷町の小学校6年生と中学校3年生が国語・算数(数学)・理科の3教科に、それぞれ取り組みました。加えて、子どもたちの生活・学習習慣などを調べるための質問紙調査も行われましたので、結果の概要をお知らせします。

学習状況調査の概要

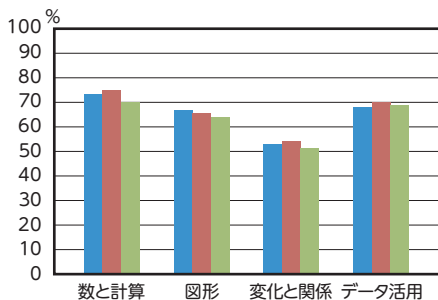
■美郷町 ■秋田県 ■全国

小学校 国語



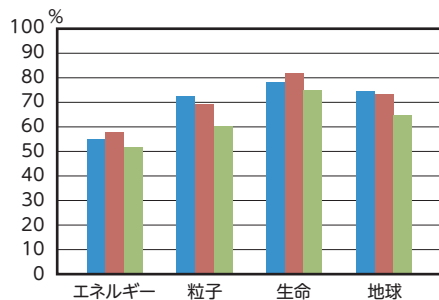
「言語事項」の領域は、全国、秋田県の平均を上回り、学習内容の定着が図られています。「書くこと」と「読むこと」の領域については、複数の叙述から総合的に判断する力、感じたことや考えたことを文章に表現する力を伸ばしていく必要があります。

小学校 算数



4つの領域のうち、「図形」の領域で全国と秋田県の平均を上回ったものの、残りの領域は秋田県平均をやや下回る結果となりました。すべての領域で、学習した知識・技能を日常生活に戻し、その意味を考えるとといった「数学的な見方や考え方」をはたらかせる力を伸ばしていく必要があります。

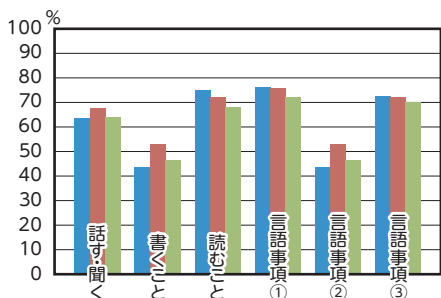
小学校 理科



2つの領域で全国、秋田県の平均を上回りました。すべての領域で「思考・判断・表現」に課題が見られ、予想や仮説を基に解決方法を発想して観察、実験を行い、得られた結果から分析、解釈したことを基に結論を表現するといった、課題解決に必要な力を伸ばしていく必要があります。

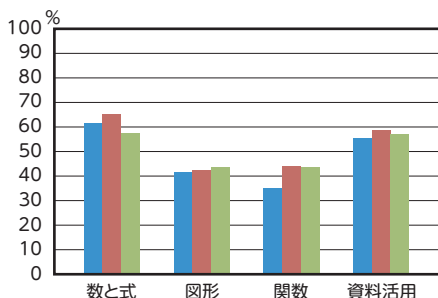
言語事項：①言語の特徴や使い方に関する事項、②情報の扱いに関する事項、③我が国の言語文化に関する事項

中学校 国語



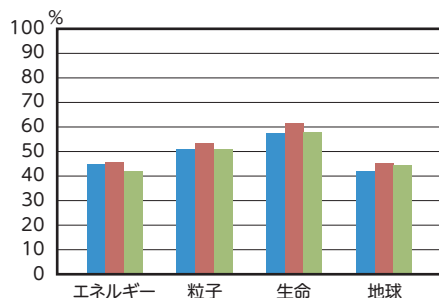
5つの領域のうち3つで全国、秋田県の平均を上回りました。「書くこと」の領域については、事実を基に考えや意見を述べたり、批評したりする活動を通して、根拠を明確にして自分の考えが伝わる文章を書く力を伸ばしていく必要があります。

中学校 数学



「数と式」の領域は全国平均を上回ったものの、すべての領域で秋田県の平均をやや下回る結果となりました。「関数」の領域については、一次関数の変化の割合について、表、式、グラフを関連付けながら意味を理解するといった力を伸ばしていく必要があります。

中学校 理科



すべての領域で全国平均と同程度または上回ったものの、秋田県の平均をやや下回る結果となりました。小学校と同様に「思考・判断・表現」に課題が見られ、科学的な根拠に基づいた考察を行い、他者との話し合いを通して自分の考察を深める力を伸ばしていく必要があります。

総評

各校では、4月の調査終了後に自校採点を行い、課題把握とその克服に向けた対策に取り組んできています。また、秋田大学教授を講師に迎えての授業力向上研修や、指導主事訪問による研修を全学校で実施し、授業での指導に生かし、個に応じたきめ細かい指導を学校全体で行うようにしています。今後も各校における現状と課題を明確にし、より一層の授業改善を図ることで、美郷町の子どもたちの可能性を十分に伸ばせるように努めていきます。

児童・生徒質問紙調査の結果概要

I ①～④ 学校や社会への関心

町では今年度も週1回、小学校4年生以上の児童・生徒全員に新聞を配布して読む活動を行っています。今後も活動を継続し、社会や地域への関心を高めていきます。地域行事への参加について、新型コロナウイルス感染症の感染状況を見ながら、小中学生の参加を呼び掛けていきます。

II ⑤～⑧ 自分自身の捉え

ほとんどの項目で秋田県の平均を上回る結果となりました。今後も各学校において、児童・生徒一人ひとりの良さを一層伸ばすこと、自信や自尊心を養うことができるように、家庭との連携も大切にしながら、取り組みを推進していきます。

III ⑨～⑬ 授業に対する思い

項目⑩で秋田県の平均を大きく上回り、小中学生ともに国語の学習に意欲的に取り組んでいる様子が見られます。その意欲を生かし、授業の中に効果的に言語活動を取り入れたり、ICT機器を有効に活用したりして授業改善に努め、児童・生徒の学力の向上を図る取り組みを推進していきます。

IV ⑭～⑯ 家庭学習

項目⑭は秋田県の平均を上回り、小中学生ともに家庭学習の習慣が身に付いていることがうかがえます。町ではすべての小中学生と家庭に「家庭学習の手引き」を配布するなどして、引き続き児童・生徒の力を伸ばす家庭学習を支援していきます。

V ⑰～⑳ 家庭での生活・会話

項目⑳で秋田県の平均を上回り、多くの児童・生徒が家庭での携帯電話等の使い方の約束を守っている様子が見られます。お子さんと一緒にルールづくりをすることは「約束を守る力」を育てます。機会をとらえ、ご家庭でのルール作りやルールの見直しを図っていただきたいと思います。

VI ㉑～㉓ 規範意識や道徳性

すべての項目で9割近く、またはそれ以上の児童・生徒が「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答する結果となりました。今後も児童・生徒の規範意識や道徳性を高めることができるように、地域・家庭・学校がそれぞれの立場で規範を示し、温かく見守りながら子どもたちを育てていきたいと思っております。

単位：%

質問の内容		小学校	県との差	中学校	県との差
I	① 学校に行くのが楽しい	91.8	3.6	86.6	0.9
	② 週に1～3回、または毎日新聞を読んでいる	58.2	38.5	29.2	14.7
	③ 地域の行事に参加している	80.3	13.7	41.8	-10.3
	④ 地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがある	80.3	13.8	63.0	2.3
II	⑤ 自分には、よいところがあると思う	89.4	3.8	85.0	1.2
	⑥ 将来の夢や目標を持っている	88.6	1.8	84.3	8.4
	⑦ 自分でやると決めたことはやり遂げるようにしている	94.3	2.2	99.2	7.9
	⑧ 難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦している	83.6	3.8	74.8	-1.3
III	⑨ 授業では課題の解決に向けて自分で考え自分から取り組んだ	91.8	7.2	89.0	2.2
	⑩ 自分の考えが伝わるように、資料や話の組み立てなどを工夫して発表した	74.6	6.0	63.7	-4.0
	⑪ 国語の勉強が好きだ	82.0	13.4	85.1	10.0
	⑫ 算数(数学)の勉強が好きだ	83.6	14.5	50.4	-13.9
	⑬ 理科の勉強が好きだ	97.5	9.1	90.5	10.2
IV	⑭ 家で、自分で計画を立てて勉強をしている	91.8	5.6	90.5	18.1
	⑮ 平日の家庭学習の時間 小学生：1時間以上学習 中学生：2時間以上学習	85.3	15.7	28.3	-2.8
	⑯ 平日、授業以外に30分以上読書をしている	42.6	6.7	32.3	-1.7
V	⑰ 朝食を毎日食べている	97.5	1.3	94.5	0.6
	⑱ 毎日、同じくらいの時刻に寝ている	89.4	3.7	89.0	5.0
	⑲ 毎日、同じくらいの時刻に起きている	91.8	-1.7	93.7	-0.7
	⑳ 家の人と決めた、携帯電話等の使い方の約束を守っている	82.0	10.2	78.8	6.7
VI	㉑ 人が困っているときは、進んで助けている	96.7	5.2	89.7	-2.6
	㉒ いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う	99.1	0.8	98.5	0.8
	㉓ 人の役に立つ人間になりたいと思う	99.2	2.0	98.4	1.1